

# 「島づくり人材養成大学」

## 受講報告

國 弘 秀 人 (祝島)

9月28日から30日の三日間、東京・永田町の全国町村会館において開催された「島づくり人材養成大学」を受講しましたので、その報告をさせていただきます。「島づくり人材養成大学」は財団法人日本離島センターが離島の地域づくりに取り組む人材を養成するために毎年1回開催するもので、今回が20回目になります。

今回のテーマは「めざせー我が島の縁人／エンジン」。地域の宝を活用し、島おこしを発信していく際に、さまざまな主体をつないでいける人材を育成することが目的とされていました。

### ◎受講者

今回の受講者は24名。島で生まれ育った人、島にUターンしてきた人、まったく違う土地からUターンした人、そして役場の離島振興の担当者など。20代の若い漁師さんから、70代でボランティアガイドをされているおじいちゃんまで、バラエティに富んだメンバー構成でした。

### ◎講習内容

今回の「島づくり人材養成大学」の主な講習内容をご紹介します。

#### ＜1日目＞

全体ガイダンスの後、「自己紹介・島紹介」。1人2分間で、自分と、自分の島の紹介をスピーチしました。

次に、「他己紹介・他島紹介」。2人1組でペアになって、お互いにインタビュ

し、相手の人柄や普段の活動、そして相手の島の特徴などを聞き、それを紹介するストーリーを組み立てて、1人3分間で発表する実習です。自分をよりよく伝える、あるいは相手をよりよく紹介する、そのためごどのようなポイントでインタビュをするか、あるいは答えるかを学びました。

#### ＜2日目＞

まずは「地域づくりに取り組む先輩『縁人』に学ぼう」という講義。日本各地で地域づくりの中心として頑張っている「縁人」を紹介していただきました。「縁人」の共通点は、①自分のためではなく、地域全体がよくなることを考える ②「誰かがやらなければ」が始まり ③地域の宝を次世代に伝えるため ④地域の人材を活かす、頼む、やってみよう ⑤多くの人に伝える だそうです。

次に「セルフコーチング」の講義と演習。自分をどうコントロールして、なりたい自分になるか、を学びました。ある結果を得るには、行動することが必要で、その行動は感情によって左右される。この「感情」に注目し、未来のイメージで感情を動かすという方法でした。歳を取るほど過去の記憶に行動が引きずられて、未来のイメージで行動することができなくなるのだそうです。それを克服するのが、このセルフコーチングの手法です。

次に「SMART（スマート）な目標を立てよう」という講義と実習。未来のイメージでいい感情になったら、次に具体的な目標を立てます。この時に、次のようなSMARTルールに沿って目標設定するとゴールがきわめて明確にできる、という道標です。

- S : Specific 具体的か？
- M : Measurable 測定可能か？
- A : Attainable 達成可能か？
- R : Relevant 関連しているか？  
(自分の価値観と合うか？)
- T : Time-sensitive 時間に敏感か？  
(締切が設定されているか？)

受講者は各自で、このSMARTルールに沿って目標を立て、その目標を達成するために島に帰ったらすべにこの3つをやります！という「はじめの3歩」を発表しました。

ちなみに私の立てた目標は、「祝島の自然や歴史、生活を体験するモデルコースと説明のストーリーを仲間と一緒に考える。5つのモデルコースを作り、来年の3月31日までパンフレットを作成する。」です。この目標を達成するために、いろいろな力をお借りすることになると思いますが、皆さんご協力よろしく申し上げます。

#### ＜3日目＞

1日目、2日目の講義や演習のポイントのおさらいをして、2日目に立てた目標に向かっていている自分、その目標を達成した自分をアピールするための「未来の自分名刺」を作りました。そして、この「未来の自分名刺」を使って、各自の自己紹介と島紹介を1人2分でスピーチしました。初日の自己紹介と比べて、どの参加者も皆さんパワーアップした未来の自分をアピールできていました。

最終講義は「縁人」としての心構えの講義。そして、最後に全員で3日間の講習の感想や、得たことを今後どう生かしていくかについて話し合いました。

### ◎受講した感想

北海道から九州まで全国の離島から、さまざまな年代、さまざまな立場の人が講習に参加されました。皆さん、共通しているのは「島の役に立ちたい」という熱い想いです。参加の目的としては、どの人も「他の島でどういう取り組みがされているのか知りたい」「他の島とのネットワークを作りたい」ということをあげていました。

今回の講習では、自分たち自身 まずは「縁人」になって人と人をつないでいこう、そして島の「エンジン」になって引っ張っていく、という覚悟を持つことと、そのためのいろんな手法や心構えを講義や演習を通して学ぶことができました。

3日間、共に学び、お互いの島のことを話し合うことで、参加者同士のつながりができたと思います。これは今後の大きな財産になると思います。また、日本離島センターの方々や、講師の先生方とのつながりも今後の大きな力になります。

島づくり・まちづくりは人材を育成するところから始まると思います。「島づくり人材養成大学」というすばらしいチャンスや、ぜひ今後も活用していくべきだと思えました。島づくりに積極的に取り組んでいる隠岐の島などは毎年誰かを参加させているようです。上関町の離島は祝島と八島ですが、離島振興を担うする役割職員の参加もOKなので、ぜひ毎年1人は上関町から誰かが参加することを望みます。



平成23年9月28日 於・全国町村会館